

# 「天地人」を楽しんでいます

大和市 玉井輝（本町六丁目出身）

昨年からの大河ドラマが始まるのを、楽しみにして待ちに待っていました。

春日山頭から眺めた上越の山々、鮮明で緑濃くとても綺麗でしたね。そして二回目の時、雪の中を兄さんが、幼児をやつと探し出し、おんぶして灯りが見える処まで来た時は涙が出ました。感動のシーンでした。拙文では言い表せませんが、織田信長の本能寺の変、関ヶ原の天下分け目の戦とかには、上杉景虎のような文武兼備した水魚の間柄の相談相手が必要ですね。こんな関係を今学校では教えていないようですね。

このドラマを見て、昔詩吟を楽しんでいた頃を思い出しています。

読み方

春日山頭 晩霞に鎖さる  
驛鯉嘶き罷んで 鳴鶴有り  
憐れむ君が独り 能州の月を賦して  
平安城外 花を詠ぜざりしを

頼山陽作の川中島は、皆さんのご承知の通りです。

題下不識庵撃機山圖上

鞭聲蕭々夜過河

暁見千兵擁大牙

遺恨十年磨一劍

流星光底逸長蛇

さて、ここで皆さんにお願いがあります。

春日山節を始め、上越には多くの民謡や雪の歌があります。しかし私が察するにお隣の甲斐の武田節のようなこぶしの効いた、重みのある歌はないのではないのでしょうか。

どなたか、武田節に負けないような、何十年と歌い続けられるような、そして日本中の人に愛される歌を作って下さいませんか。途中で詩吟を入れても良いですね。謙信、景勝、景虎、兼統などの英雄に纏わるエピソード、第一義などの不朽の言葉、言い伝え等は沢山あります。

吉報をお待ちして居ります。

（九十四才 野田ヒロ子、塩田礼子の母）

- 大槻警漢作の  
春日山懐古
- 春日山頭 晩霞
- 驛鯉嘶罷有鳴鶴
- 憐君獨賦能州月
- 不詠平安城外花



右より野田さん、塩田さん、玉井輝さん